

## 【特別調査】

# 資金繰りの状況等に関する調査

- 1.調査目的：当所会員事業所の資金繰りの状況等を調べる
- 2.調査期間：平成23年9月14日～27日（13日間）
- 3.調査方法：(1) 市内に本店を置き、F a x 番号登録のある当所会員事業所  
(2) 23年度第2四半期景気動向調査とあわせて調査
4. 調査対象：5,451先
5. 回 答 数：1,008先（回答率18.5%）

（回答企業の規模別構成比）

	構成比	事業所数
全 体	100 %	1,008
1～5 人	40.1 %	404
～20 人	35.7 %	360
～50 人	13.4 %	135
～100 人	4.6 %	46
～300 人	3.9 %	39
301 人以上	2.4 %	24

（回答企業の業種別構成比）

	構成比	事業所数
全 体	100 %	1,008
建設業	18.1 %	182
製造業	21.3 %	215
情報通信業	0.2 %	2
運輸業	4.4 %	44
卸売業	12.9 %	130
小売業	13.3 %	134
金融・保険業	1.9 %	19
不動産業	2.8 %	28
飲食・宿泊業	3.1 %	31
医療・福祉	1.6 %	16
教育・学習支援業	1.0 %	10
サービス業	19.5 %	197

- 6.調査内容：(1) 最近1年間での新規借入の実施についてお答え下さい。  
(2) 借入に関する動向・課題についてお書き下さい。（複数回答可）  
(3) 金融施策に望むことについてお書き下さい。（複数回答可）  
(4) 資金繰りや融資制度についてご自由にお書き下さい。（自由記述）

平成23年10月11日作成

姫路商工会議所

**問1-1. 最近1年間で新規借入れの実施について**

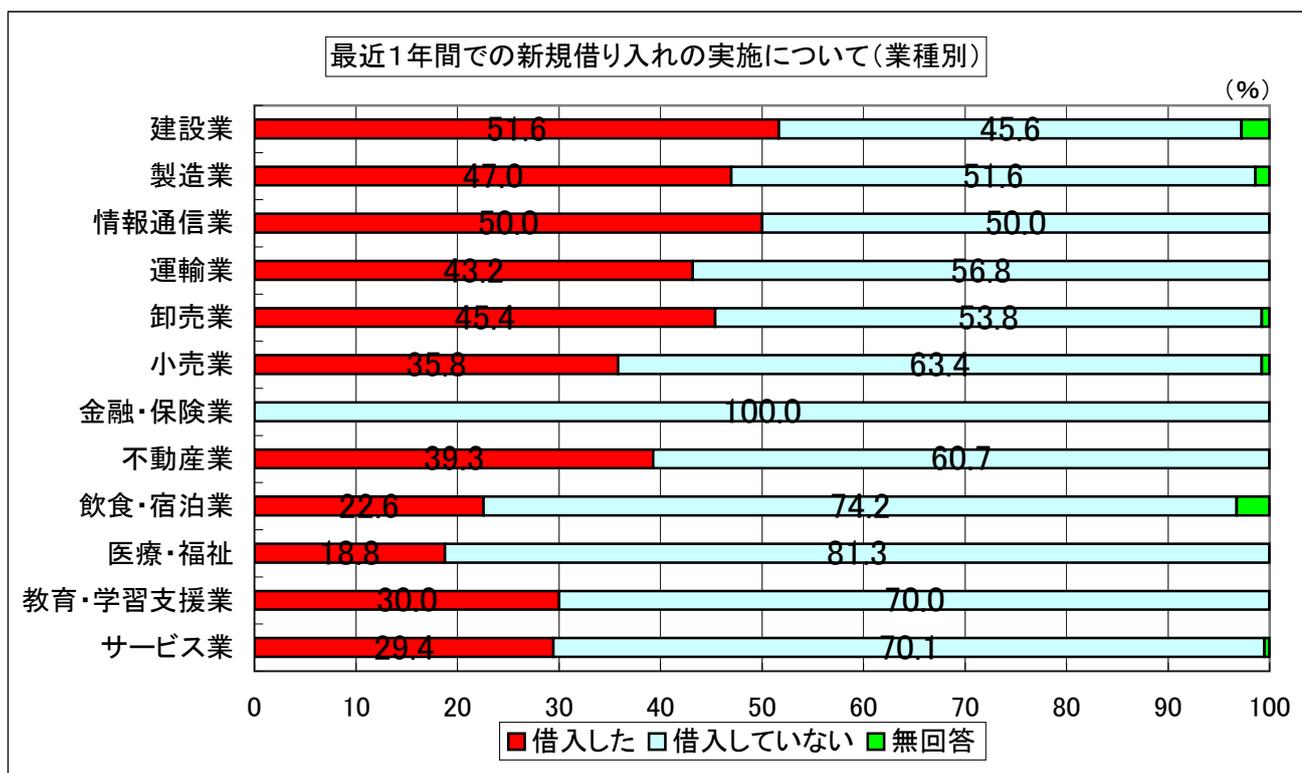
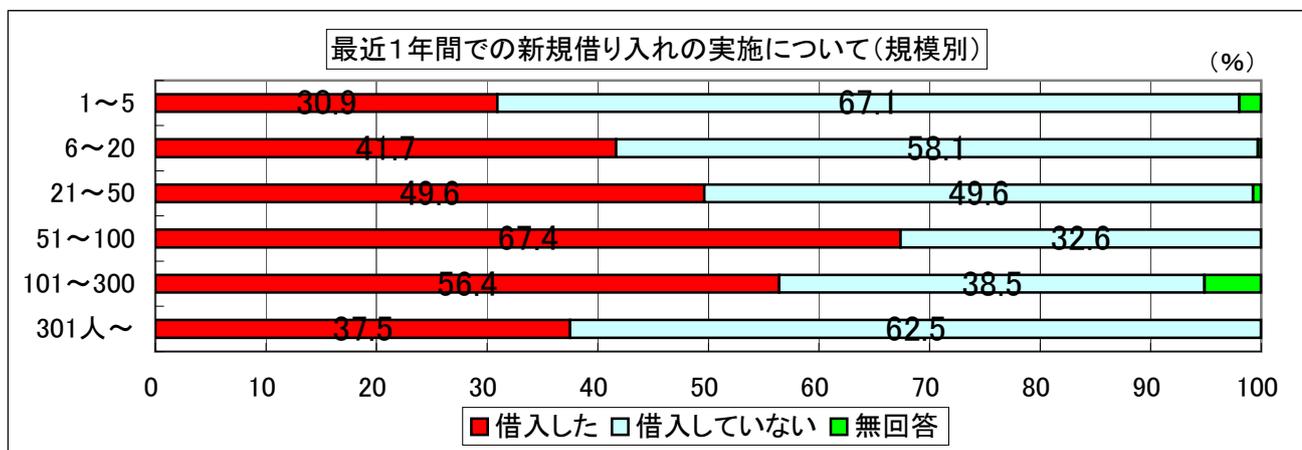
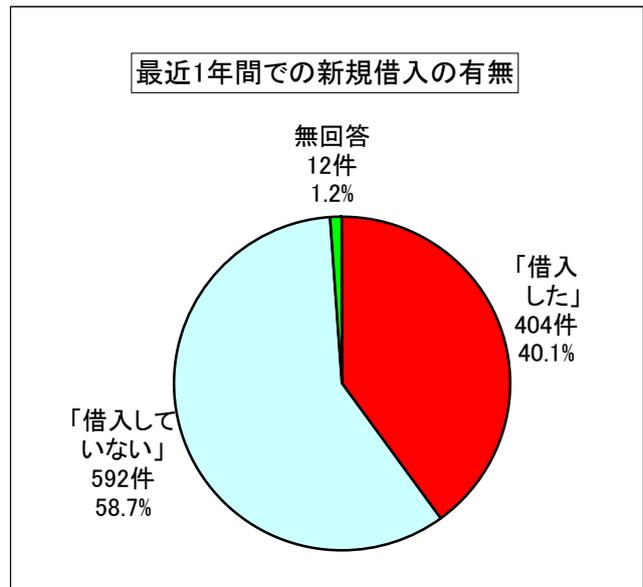
- 「借入した」 . . . 40.1% (404件)
- 「借入していない」 . . . 58.7% (592件)
- 「無回答」 . . . 1.2% (12件)

- 規模別の状況  
「借入した」割合が最も高かったのは、「51～100人」の区分 (67.4%) であった。

「借入した」割合が最も低かったのは、「1～5人」の区分 (30.9%) であった。

- 業種別の状況  
「借入した」割合が最も高かったのは、「建設業」 (51.6%) であった。

「借入した」割合が低かったのは、「金融・保険業」 (0.0%)、  
「医療・福祉」 (18.8%)、  
「飲食・宿泊業」 (22.6%) などであった。

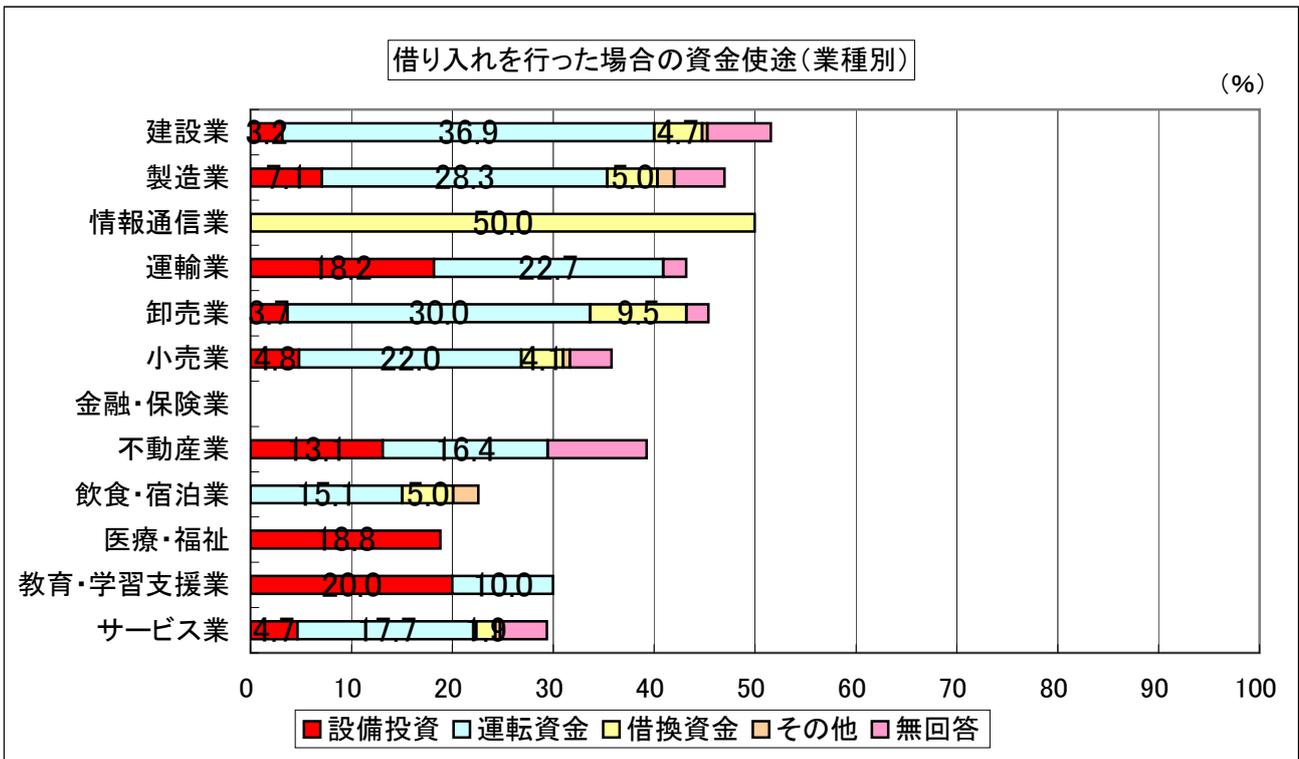
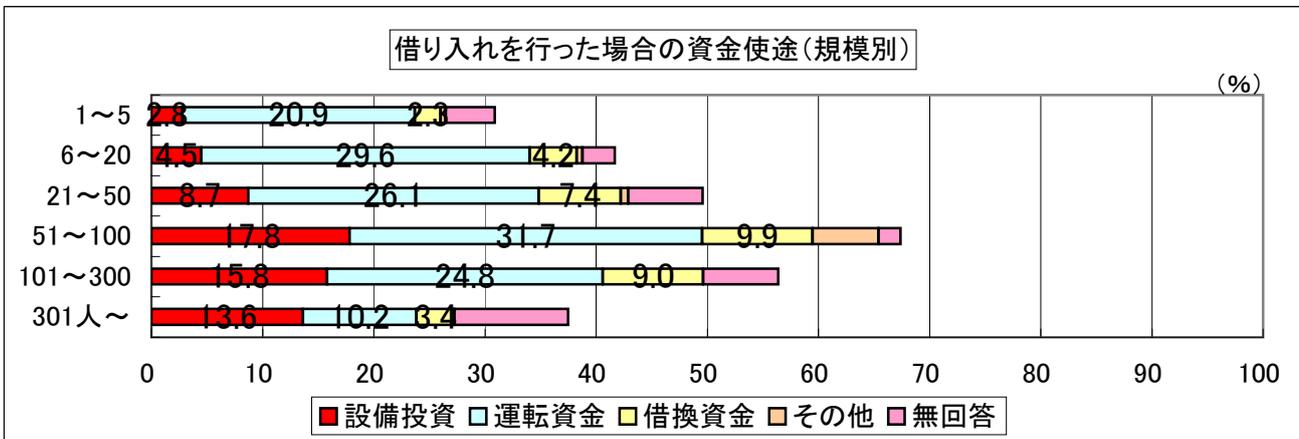
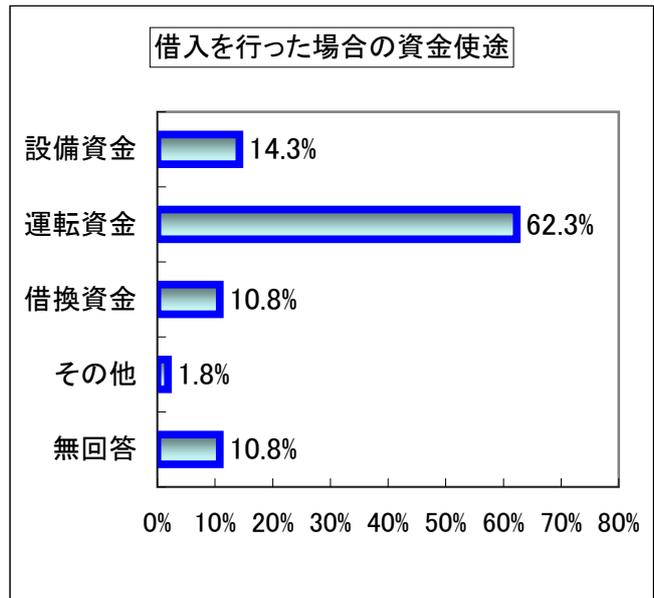


**問1-2. 借入した場合の資金使途について (複数回答可)**

(問1-1において「借入した」と回答した場合)

- 「設備資金」 . . . 14.3% ( 62件)
- 「運転資金」 . . . 62.3% (271件)
- 「借換資金」 . . . 10.8% ( 47件)

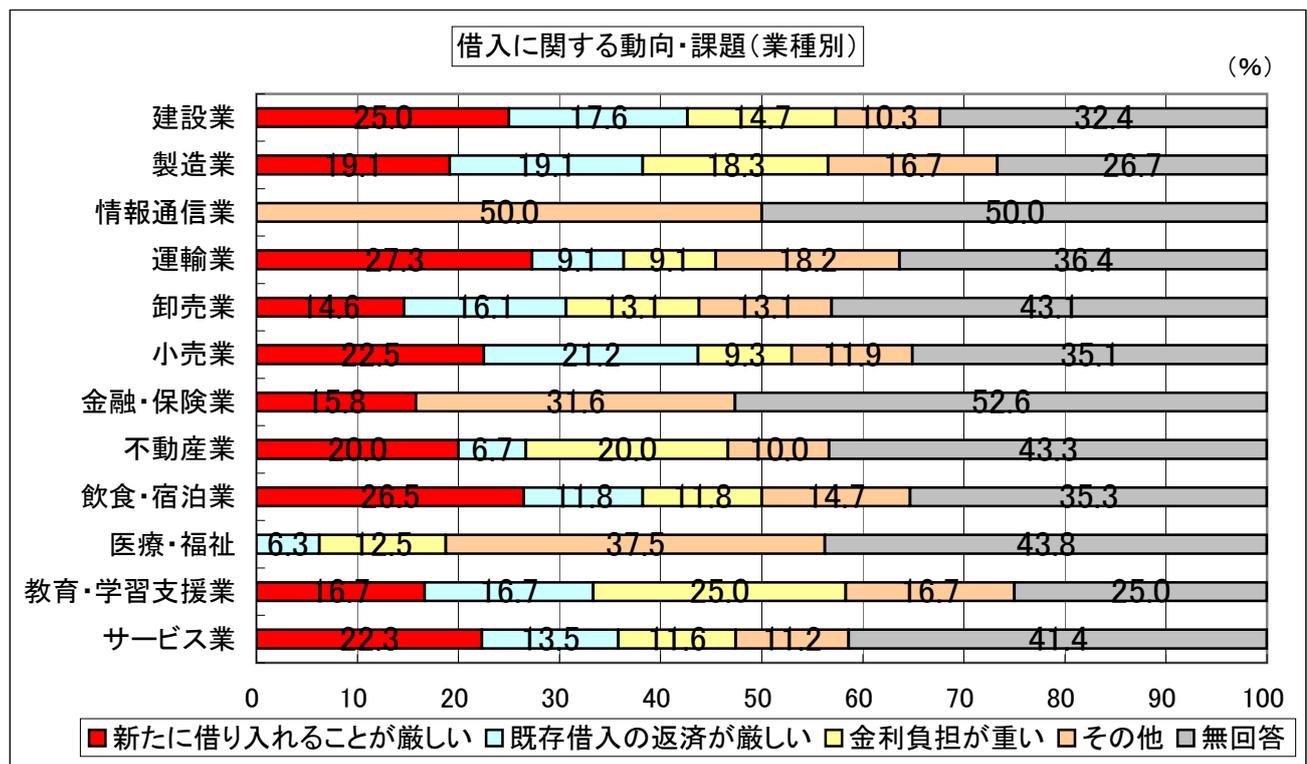
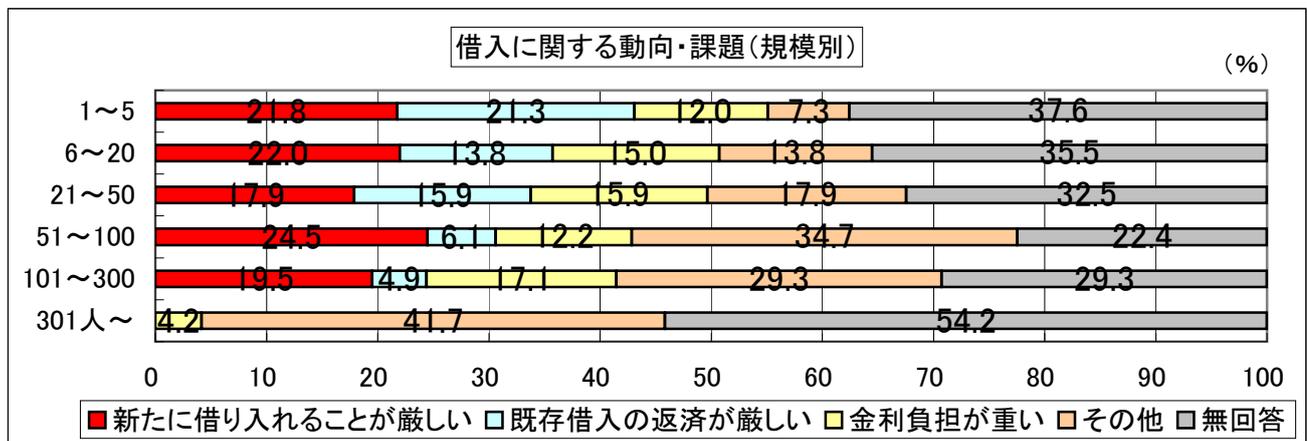
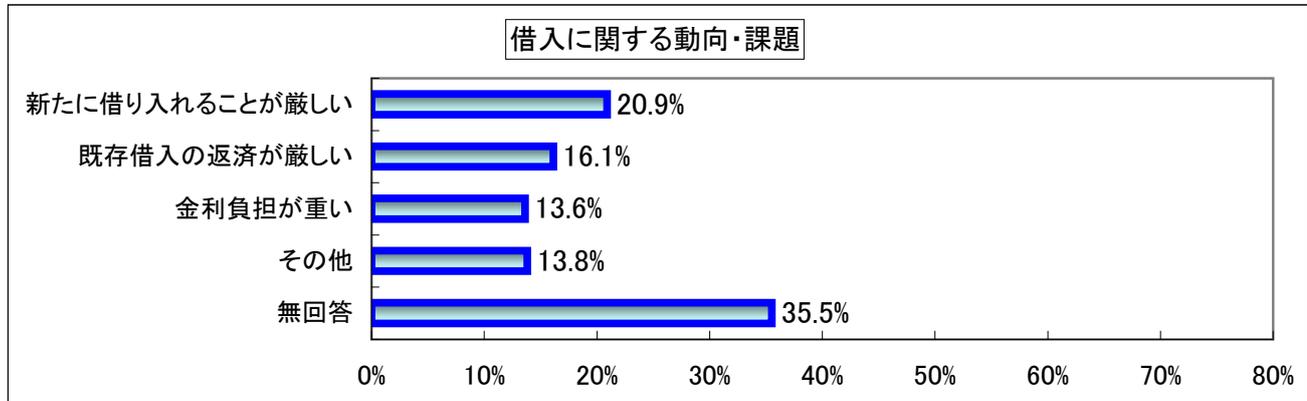
○ 業種別の状況  
 「建設業」「製造業」「卸売業」「小売業」「サービス業」など、回答件数の多い業種では、運転資金の割合が非常に高い。



**問2. 借入に関する動向・課題について（複数回答可）**

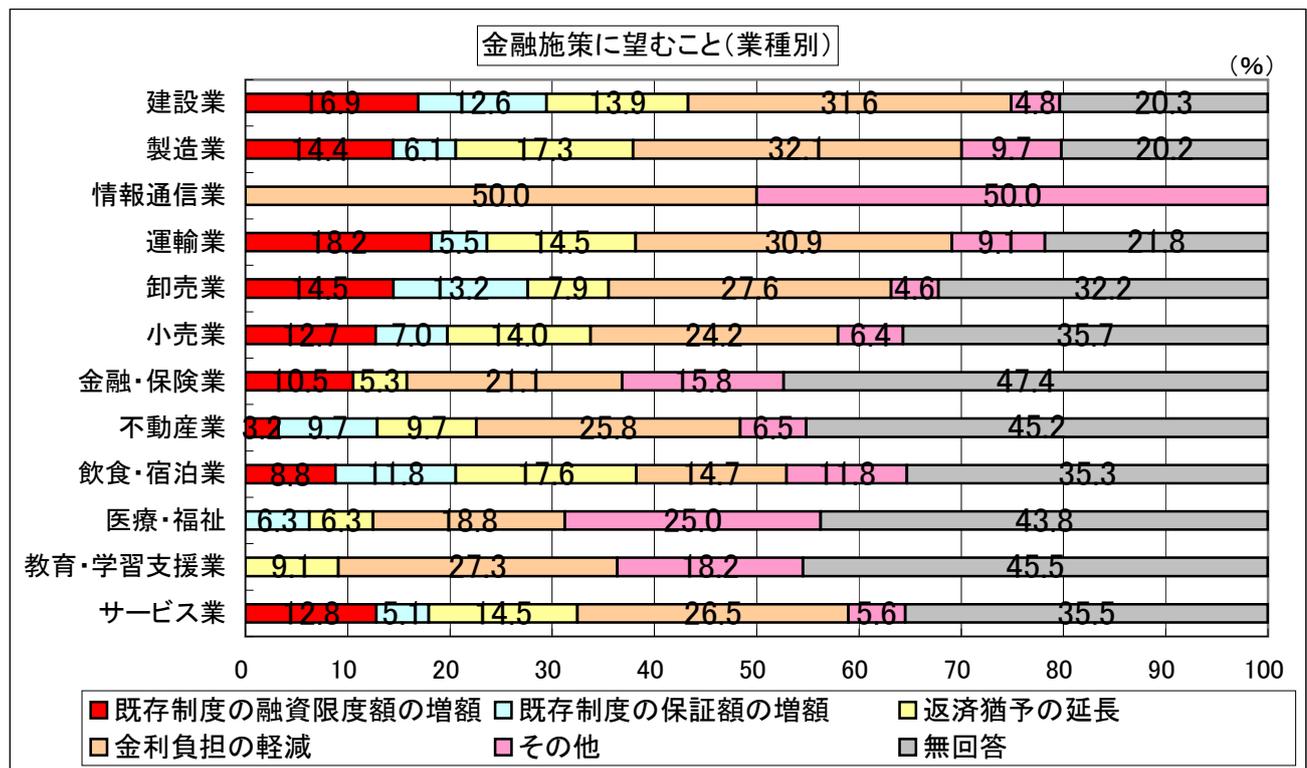
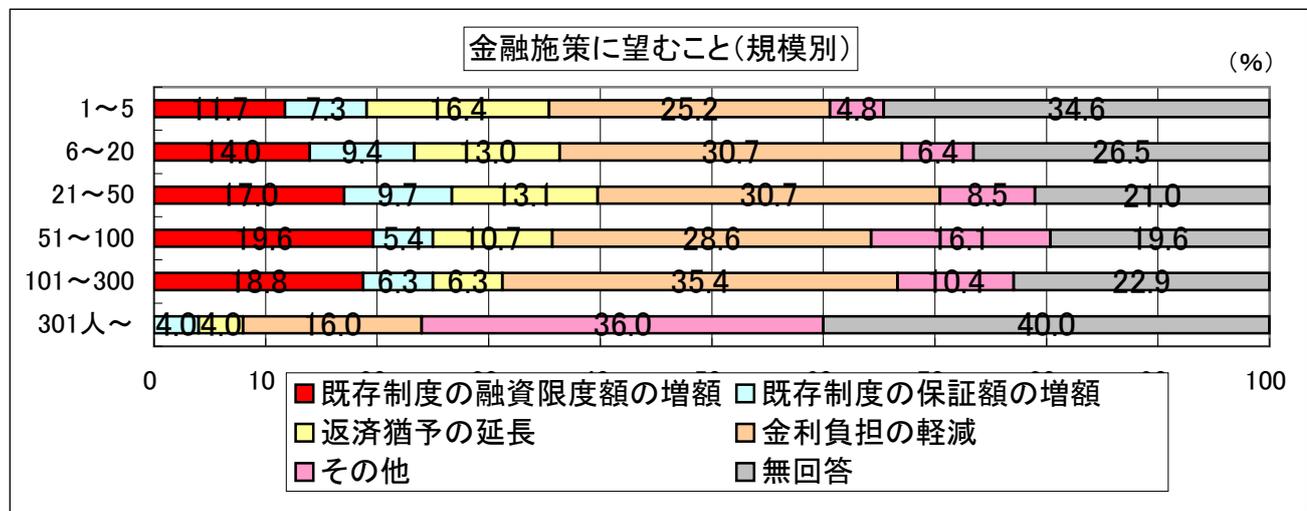
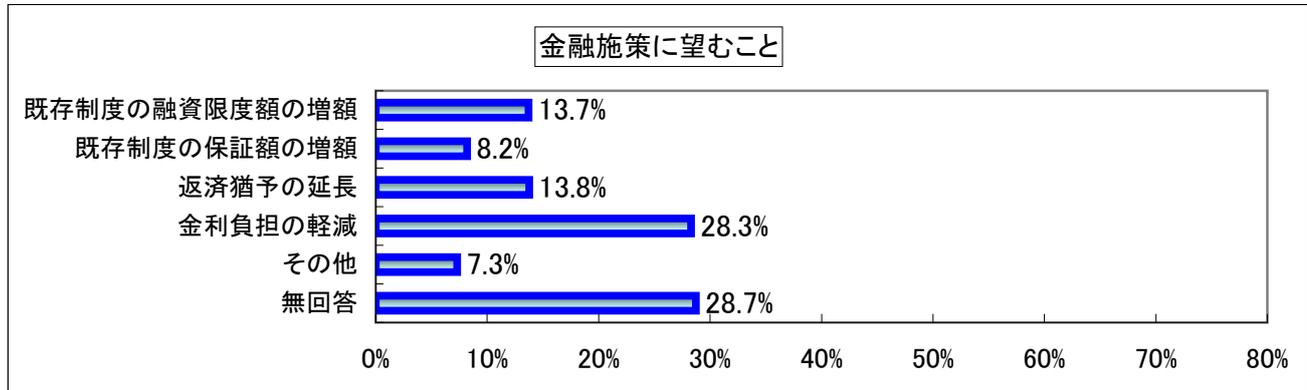
- 「新たに借り入れることが難しくなっている」・・・20.9%（233件）
- 「既存借入の返済が厳しくなっている」・・・16.1%（180件）
- 「金利負担が重い」・・・13.6%（152件）

- 規模別の状況  
規模が小さくなるに伴い、「既存借入の返済が厳しくなっている」の割合が高い。



**問3. 金融施策に望むことについて (複数回答可)**

- 「既存制度の融資限度額の増額」 . . . 13.7% (167件)
- 「既存制度の保証額の増額」 . . . 8.2% (100件)
- 「返済猶予の延長」 . . . 13.8% (168件)
- 「金利負担の軽減 (利子補給制度の創設)」 . . . 28.3% (345件)



## 問4. 資金繰りや融資制度に関する自由意見

### 現状など

- ・ 借り入れる事が可能だとしても返済が難しい。利益率も非常に悪化しているし、需要減少し、競争激化し、悪循環であると思う。(建設業)(1-5人)・(卸売業)(1-5人)・(小売業)(1-5人)
- ・ 受注工事があっても、立替払いが出来ない。(建設業)(6-20人)
- ・ 景気が良くなってもらいたい。借金が怖くなってきている。(製造業)(1-5人)
- ・ 今後ますます不確実な状況、借り入れは返済していかなければならない。(製造業)(6-20人)
- ・ 当社の借り入れは無理。(製造業)(6-20人)・(サービス業)(1-5人)
- ・ 全て親会社より資金繰り。(製造業)(21-50人)
- ・ 資金繰りに本当に困っています。売上が激減なので借入返済が厳しいです。(卸売業)(1-5人)
- ・ 新規事業の資金の拡大が見込まれる(LED事業)。しかし、借りたくない。担保がない。(卸売業)(6-20人)
- ・ ものづくりの資金が足りない(借入が出来ない)。(サービス業)(1-5人)
- ・ 市場が縮小している業界であるため、融資を受ける状態に陥らない様に、日々努力しています。(運輸業)(21-50人)
- ・ 毎月の返済が出来にくい上に、支払い期がくると不足するので借りるといふ悪循環が続いていて将来暗いです。(小売業)(1-5人)

### 融資制度の拡充など

- ・ 特許願、申請維持の資金を安くする制度を作って欲しい。(製造業)(6-20人)
- ・ 金融及び既存制度の融資限度額の増額及び返済猶予の延長の見通しなし。(製造業)(21-50人)
- ・ 税金、社会保障等の支払いが遅れているために国の不況対策融資を追加で借りたいと思っていたが出来ないようだ。担保を入れているので、枠の空いた分ぐらいは融資して欲しいと思う。(運輸業)(6-20人)
- ・ 設備投資する時、融資制度を利用しようと思っても2、3回利用していると担保を必要とされます。いかななものかと思う。(運輸業)(6-20人)
- ・ シンジケートローンの様なものに対する制度的優遇措置で、金融機関と融資先、双方のリスク軽減。(卸売業)(6-20人)
- ・ 夏場(6~9月)は冬場の半分の売上げになってしまう。その為、資金繰りが大変です。軌道にのるまでの半年or1年間の据え置き期間を取りやすくして頂くと助かります。(小売業)(1-5人)
- ・ 3月11日の影響を含め円高による輸出企業へのダメージ等、売上減少による借入金返済が通常に出来ない状態になりつつある。思い切った利子補給制度の創設、供給延長策の延期等策を出すべきだと思います。(小売業)(6-20人)
- ・ 政策公庫返済の返済期間の延長は出来ませんか？(サービス業)(1-5人)・(サービス業)(6-20人)
- ・ 今借りている金額の一本化をすることはできないのかなと思います。(飲食・宿泊業)(1-5人)・(サービス業)(1-5人)
- ・ 新規事業等の融資枠及び金利の更なる緩和を要望します。(建設業)(6-20人)
- ・ 返済猶予延長が終われば返済が可能かと言われれば全く困難な状況下において、金利負担の軽減があれば少しは返済計画の具体的な道筋が見えるかと思えます。(小売業)(21-50人)
- ・ 経営改善貸付等の金利は低利だが、固定金利と云う事で公定歩合の変化に対応しておらず、場合によれば市中銀行の金利を上回る事が時として生じる。これらの改善を望む。(サービス業)(1-5人)
- ・ 売掛債権融資など制度・手続きの簡素化。(建設業)(6-20人)・(サービス業)(6-20人)

## 政治

- ・ 金融緩和対策の強化、実質金利が下がる施策を望む。(卸売業)(21-50人)・(小売業)(1-5人)
- ・ 城工事、デフレ、震災、ホテルラッシュ。国指導で金利対策を。(飲食・宿泊業)(6-20人)
- ・ 超円高に依りドル資金からの円転に四苦八苦しています。日本経済弱体化や産業空洞化が進もうとしているにも拘わらず日本政府民主党の無策ぶりには呆れて物が言えない。(卸売業)(1-5人)
- ・ 日本の税の有り方、又、政治の増税ありきを不信に思う。(サービス業)(6-20人)

## 保証協会への意見など

- ・ 保証料が高すぎるので安くしてほしい。(製造業)(1-5人)・(運輸業)(21-50人)
- ・ 本来の役割の低下、経済変化への迅速・的確な対応を行っていない協会へ不満がある。(小売業)(1-5人)
- ・ 保証協会に対して借換えや借入の一体化にも柔軟な対応を望む。(小売業)(6-20人)

## 金融機関に対する意見など

- ・ 業績に応じた審査を行って頂きたい。将来性を重視していただきたい。資産等をはじめからゼロなので、そこがスタート点であれば全く話にならないことが多い。(建設業)(1-5人)
- ・ 今のところ問題ないが、もっと渋らず貸して欲しい。(建設業)(6-20人)・(建設業)(6-20人)
- ・ 銀行は払いを下げたら融資がストップし、このままでは会社が倒れ従業員の生活が出来なくなる。(建設業)(6-20人)
- ・ 仕事の先行きの不安材料が多すぎることで金融機関が警戒している。金利の上昇懸念。(建設業)(6-20人)
- ・ もっと金利を安くしてほしい。(1%以下)(製造業)(1-5人)

## その他

- ・ 資金繰りは、低金利時代 スムーズなお客様の支払で助かっています。(小売業)(1-5人)
- ・ 来年店舗を建て替えたいので借入した。(小売業)(1-5人)
- ・ 23年10~12月に設備投資を予定しています。(サービス業)(6-20人)
- ・ H24年度に借入をして、事業展開を進めたいと考えているので、融資制度のことを詳しく知っていきたいと思います。(飲食・宿泊業)(1-5人)
- ・ 公的金融機関の支援がしっかりしている。(製造業)(6-20人)
- ・ 中小企業向け、短期・長期において比較的金利軽減の期間限定でよいので借りやすい制度で、市なり県なりのバックアップの制度提供をこれから利用・運用していきたい。(製造業)(6-20人)
- ・ 経営内容や資金繰りは自社の姿です。適正な運営をすれば、融資も可能である。(金融・保険業)(1-5人)
- ・ 利益計画や改善計画をしっかりたて、実行するところに融資をしましょう。(サービス業)(6-20人)